

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第7期)策定に向けた調査一覧

【アンケート調査】

調査方式: 郵送配付・郵送回収(礼状兼督促状配付)、実施時期: 平成28年10月下旬～11月中旬

| 区分 | 調査種別 | 調査目的 | 対象者 |
|----|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 調査 | 市民一般調査 | 市民の健康づくりの取組状況や生活習慣、認知症等についての意識、社会活動への参加状況等を把握するとともに、要支援・要介護認定を受けていない高齢者の意識と生活実態を把握し、サービスの潜在需要や介護予防の具体化に向けた方策などを検討する。 | 40～64歳の市民 1,000人 65歳以上の市民 2,600人 (要支援・要介護認定者を除く) |
| 調査 | 要支援・要介護認定者調査 | 要支援・要介護認定者のサービスの利用状況と利用意向を把握し、サービスの水準の目標設定やサービス提供のあり方などを検討する。 | 介護保険居宅サービス利用者 1,500人 介護保険施設サービス利用者 500人 介護保険サービス未利用者 500人 |
| 調査 | 日常生活圏域ニーズ調査 | 要支援・要介護認定を受けていない高齢者及び要支援1～要介護2までの要支援・要介護認定を受けている人の家族や生活状況、身体状況や外出の状況、転倒予防の状況等を把握し、生活支援の必要性などを検討する。 | 65歳以上の市民、及び要支援1～要介護2認定者 2,500人 |
| 調査 | 介護保険サービス提供事業者調査 | 予防・居宅介護サービス、施設サービスを提供している事業所の運営状況や、今後の事業展開、市への意見や要望等を把握し、介護保険制度の適切な運営に向けた方策などを検討する。 | 市内で介護予防・居宅介護サービス、施設サービスを提供している全事業所 (200か所程度) |
| 調査 | ケアマネジャー(介護支援専門員)調査 | ケアマネジャーの業務の状況や、業務全般の考え、並びに医療と介護の連携の状況等を把握し、介護保険制度の適切な運営に向けた方策や医療と介護の連携の方策を検討する。 | 市内の居宅介護支援事業所に在籍するケアマネジャー全員 (180人程度) |
| 調査 | 医療と介護の連携: 医療関係者調査 | 医療機関(病院・診療所、歯科診療所、保険薬局)及び訪問看護ステーションにおける市民への在宅療養の取組状況や医療と介護の連携の状況等を把握し、医療と介護の連携の方策などを検討する。 | 市内の医療関係機関に所属する医師・看護師等の医療従事者400人程度 |

調査 日常生活圏域ニーズ調査については、国の方針に沿って実施します。現在、国からの調査設計等の提示が遅れているため、前回調査の内容を記載しています。

【ヒアリング調査】

調査方式: グループインタビュー(5人×2回)、実施時期: 平成28年11月頃

| 区分 | 調査種別 | 調査目的 | 対象者 |
|---------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| ヒアリング調査 | 医療と介護の連携: 介護者調査 | 在宅で療養生活を送っている要支援・要介護認定者の在宅療養生活(退院等の経過、通院、在宅診療)の状況や医療との連携の考え方等を把握し、医療と介護の連携の方策などを検討する。 | 要支援・要介護認定者のうち、在宅で療養生活を送っている第1号・第2号被保険者の介護者10人程度 |